

# — The 50th ANNIVERSARY —

## JARL KOBE CLUB



1960 - 2010

# 8J3EQ

 Earthquake

JARL 神戸クラブ創立50周年記念事業  
阪神・淡路大震災15周年メモリアル特別局 開設

- 伝えよう、もっと伝えよう阪神・淡路大震災の教訓を
- 活かそう、もっと活かそう阪神・淡路大震災の教訓を  
( 1.17 ひょうご安全の日宣言文から引用 )





JARL 神戸クラブ創立 50 周年記念事業  
8J3EQ 特別局開設に関する事業報告



# 8J3EQ

2010 年 9 月 12 日  
阪神淡路大震災メモリアルネットワーク  
実行委員会

2010 年 JARL 神戸クラブ創立50周年記念事業の一環として、2009 年11月に事業承認を受けた特別局は2010年1月の開局を目指し、短期間の準備でありました。約1ヶ月で関係官庁との調整を含め、必要手続きと並行して具体的な開設の諸準備を委員会として行ないました。本年1月17日特別局 8J3EQ 開局が出来ましたのも理事会を始め、委員会業務分担による全委員の強力な協力のお陰と深く感謝申し上げます。また、事業過程に於きましても計画・実行・調整・反省の日々を繰り返しながら、事故なく無事、全事業を2010年9月12日で終了する事が出来ました事をご報告申し上げます。

ここに、クラブ創立50周年記念事業として会員総力を挙げての 8J3EQ 特別局運用に取り組んだ証として、また神戸クラブの枠を超え、地域のアマチュア無線局、団体との交流を深めた事業としても忘れる事は出来ません。クラブの歴史に残る記録であり、共有の思い出として事業報告を致します。実行委員会の活動にご協力、ご支援いただきました皆様に重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

## ■ 8J3EQ 特別局開設に関する事業報告

### 目 次

- A 特別局開設 提案趣旨について
- B 特別局開設 理事会承認経過について
- C 概要事業計画及び関係官庁への手続き
- D 実行委員会に関する活動内容について
- E 特別局開設に関する広報内容について
- F 特別局運用に関する活動内容について
- G 特別局運用に関するルール・手引きについて
- H 特別局QSLカードについて
- I 特別局運用に関する備品類について
- J 8J3EQ アワードについて
- K 会計報告について
- L 反省内容について
- M 結び



8J3EQ 特別局 QSL カード

## ■ 報告内容

### ■ 項目 A ■ 特別局開設趣旨及び事業内容の提案

2009 年 8 月 理事会への提案背景と事業趣旨

- ① 阪神淡路大震災から15年を迎える。
- ② 1月17日「防災とボランティアの日」で毎年、記念事業が展開されている。
- ③ 神戸クラブ創立50周年を迎える年。
- ④ 災害などの非常事態が発生した時、「電波を使いボランティア活動を通してアマチュア無線家として社会貢献に寄与する。」以上の事業趣旨で特別局開設の提案をした。

### ● 添付資料 A

A-1 事業提案内容 (2009 年会報 11 月号掲載 P8-P9の抜粋)

## ■ 項目 B ■ 提案についての理事会承認

2009年11月8日 例会にて事業趣旨に基づく特別局開設の承認を得る。

- ① 2010年1月17日に開設するための準備開始までの時間的余裕が無く、有志が集まり進行しながら討議し、決定する方向で決定・同意を得た。
- ② 縣市各所との協賛調整・申請手続き、近畿総合通信局への特別局申請手続きと同時にクラブ内の調整・推進等を具体化すべく、2009年11月15日に事業推進委員会(実行委員会)を設立した。
- ③ この状況下、十分な説明が会員へ出来ず、誤報、誤解が生じたが例会や会報を通して積極的な実行委員会の経過・進捗状況を報告し、徐々に理解を得て行った。

### ● 添付資料 B

- B-1 記念事業のお知らせ (2009年 会報12月号 P5-P9 掲載)
- B-2 定款 (阪神淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会 略称:ひょうご防災ネット)
- B-3 特別局利用内規 (阪神淡路大震災メモリアルネットワーク)
- B-4 ひょうご防災ネット 入会申込書
- B-5 8J3EQ事業趣旨活動パンフレット

## ■ 項目 C ■ 概要事業計画及び関係官庁への手続き

概要計画と経過報告

- 2009.11.16 兵庫県・阪神淡路大震災15周年事業届出  
経過 2009.11.25 ひょうご安全の日推進県民会議会長より承認(受理)される。
- 2009.11.20 近畿総合通信局 特別局開局申請 (申請:識別信号 8J3OSO)  
経過 2009.11.26 局免状の修正申請 (8J3OSO から 8J3M15EQ を経て 8J3EQ が決定された。)
- 2010.01.12 特別局免許状交付  
経過 2009.12.17 局免状交付 (2009.12.17~2010.07.16 の7ヶ月間)  
(注) 実行委員会 公表期間 :2010.01.17~2010.07.16 の6ヶ月間)
- 2010.01.17 公開運用(開局)  
経過 2010.01.17 西区 雌岡山 メモリアルDay. Timeからの運用開始を決定した。
- 2010.07.16 特別局運用(閉局)  
経過 大阪府池田市移動の運用を最後に6ヶ月間の8J3EQ運用を閉局した。
- 2010.07.28 特別局免許状及び関連書類の返納  
経過 近畿総合通信局へ特別局免許状の返納及び最終構成員名簿を提出した。

### ● 添付資料 C

- C-1 兵庫県 県民局総務部防災課
  - C-1-a 兵庫県記念事業届出書 C-1-b 事業趣旨及び活動 (事業届出書添付)
  - C-1-c 兵庫県記念事業届出書の承認・受理 C-1-d 兵庫県事業ロゴ・名称使用許可
- C-2 総務省 近畿総合通信局
  - C-2-a 開局・変更申請書 C-2-b 第2回変更申請 C-2-c 局免許状 (C-2-c1, C-2-c2, C-2-c3)
  - C-2-d 構成員名簿 (公開用は個人情報取り扱い上、一部の情報を削除した。総登録構成員数=75名)

## ■ 項目 D ■ 実行委員会活動

実行委員会の開催はクラブ例会後、引き続き行う事を原則とした。(理事会の承認を得た事項)  
委員会の計画、活動等についてはクラブ会報を通して記事や議事録の掲載でお知らせと報告をした。  
実行委員会では、全ての会員が各種委員として参画頂き、クラブ創立50周年記念事業に力をお貸し頂き、全員参加型事業で終了する事を目標とし、ご協力をお願いした。

委員会活動の経過

- 2009.11.15 第1回実行委員会 14名(ココス神戸名谷店) ●(実行委員会の発足を兼ねる。)  
経過報告、事業趣旨、事業内容、県助成金制度、組織体制、諸計画、特別局申請、運営費用の提案
- 2009.12.13 第2回実行委員会 15名(大林モータス) ●委員3名委嘱(含む外部2名) 計17名

事業組織(ひょうご防災ネット)の定款・役員人事・内規、会員(構成員名簿)、一般会員の募集、QSLカード作成、運用時の広報・表示備品、予算内容の確定、公開運用の回数確定と場所、運用マニュアル、定例ロールコール等

- 2010.01.10 第3回実行委員会 20名(北区しあわせの村) ●委員5名委嘱(含む外部1名) 計22名  
第1回公開運用についての最終打ち合わせ
- 2010.01.17 □第1回公開運用 神戸市西区雌岡山 ●委員7名委嘱(含む外部4名) 計29名
- 2010.02.14 第4回実行委員会 17名(明石魚住市民センター) ●委員4名委嘱(含む外部2名) 計33名  
第1回公開運用の反省、運用予定表の公開、運用の確認事項、組織改変と新担当委員の委嘱、QSLカード仕様の決定、ロールコールMC輪番制の導入、第2回公開運用場所
- 2010.03.14 第5回実行委員会 17名(グリーンピア三木)  
第2回公開運用について、各担当委員からの報告、プリンター機種種の決定と購入等、
- 2010.04.11 第6回実行委員会 31名(西区農業公園) ●委員1名委嘱 計34名  
QSL発行状況、会計中間報告、第2回公開運用の計画説明、アワード申請状況報告、
- 2010.04.18 □第2回公開運用 三木市三木総合防災公園 ●委員8名委嘱 計42名
- 2010.05.09 第7回実行委員会 16名(明石魚住市民センター)  
第3回公開運用候補地の抽出、記録映像DVD製作、アワード申請促進、全員参加型の事業(特別委員)事業打ち上げ会の場所、費用討議、移動運用の促進
- 2010.06.13 第8回実行委員会 21名(明石魚住市民センター) ●委員1名委嘱 計43名  
第3回公開運用地決定、会計中間報告、DLW委員へDVD製作一任、アワード申請促進、打ち上げ会 9月例会日、費用2000円(補助3000円)、未委嘱会員へ名誉会員として委嘱(会報8月号)最終ロールコール:7月10日(MC:BJH)
- 2010.07.04 □第3回公開運用 淡路市 城ノ瀬山 ●委員15名委嘱(含む外部1名) 計58名
- 2010.07.11 第9回実行委員会 19名(須磨区民センター)  
第3回公開運用の反省、新設アワードの紹介、会計処理と実行委員会解散時期:9月12日  
DVD用写真8月末JTU委員宛、ハムログデータ7月末、QSL発行8月末、名誉委員委嘱人数確定  
第10回実行委員会は反省会・解散する。記念パーティー案内者リスト:全運用団体、個人へ理事会が送付。  
実行委員会資産処理:後日決定(プリンター、8J3EQ 横断幕、8J3EQ 標示版(A4)、8J3EQ 標示卓上盾

● 添付資料 D

- D-1 実行委員会 議事録 (D-1-1、D-1-2、D-1-3、D-1-4、D-1-5、D-1-6、D-1-7、D-1-8、D-1-9)
- D-2 実行委員会名簿 (総登録委員数=58名)

■ 項目 E ■ 特別局開設に関する広報内容

各界から8J3EQ事業趣旨が社会的貢献要素を含み、注目された行事として認められた。

- ① 近畿総合通信局 定例記者発表 2009年12月17日  
「阪神・淡路大震災15周年記念事業でアマチュア無線局に免許」
- ② 神戸新聞 2009年12月18日朝刊  
「震災15年 アマチュア無線局開局 神戸の団体 災害時の協力呼び掛け」
- ③ CQ誌ブログ CQ ham radio こちら編集部 2009年12月25日  
「8J3EQ阪神・淡路大震災メモリアル特別局」
- ④ 近畿総合通信局 e-かわらばん近畿 2010年1月29日  
「阪神・淡路大震災15周年 記念アマチュア局から災害救援通信の重要性を発信」
- ⑤ CQ誌 3月号 記念局運用情報 2010年2月19日 (P185-186)  
「記念局運用情報 8J3EQ 阪神大震災メモリアル特別局が公開運用で開局」

● 添付資料 E

- E-① 8J3EQ 近畿総合通信局 記者発表内容
- E-② 8J3EQ 近畿総合通信局 広報 e-かわらばん近畿 掲載内容
- E-③ 神戸新聞社朝刊 掲載内容
- E-④ 神戸新聞 Web NEWS 掲載内容
- E-⑤ CQ誌ブログ 記載内容
- E-⑥ CQ誌 3月号 記載内容

■ 項目 F ■ 特別局運用に関する活動（総交信局数＝15,966局 延べ参加総数504名）

8J3EQ事業の活動内容（神戸クラブHP内、8J3EQに記載し、公開した。）

全国各地と交信し、災害発生時にボランティア活動による非常通信への参加を、また、直接参加しないアマチュア局は「もっばらワッチしよう」と言う必要性を啓蒙、周知をはかる。特別局は、3 エリア各地に移動運用し、期間中には 20,000交信を目標とする。交信相手局に記念QSLカードを配布する。基本的にJARLビューロー経由

- (1) 開会セレモニー 2010年1月17日午前10時から神戸市西区 雌岡山 駐車場「大震災メモリアル日時」に開局する。特別局による第1回公開運用を行いました。
- (2) 期間中数回、兵庫県各地の数カ所に移動して、特別局による公開運用を行った。  
4月18日 第2回 公開運用を三木市総合防災公園にて行ないました。  
7月4日 第3回 公開運用を淡路市城ノ瀬山 山頂にて行ないました。  
公開運用では、一般のアマチュア無線家が従事者免許証を携帯すれば参加できる。
- (3) 「ひょうご防災ネット」に参加希望のアマチュア局により、レピーターJR3WPを使い、毎月2回 ロールコール通信（順次呼び出し・情報交換）を行った。  
2009年12月19日（土）21時30分～ 周波数 439.68MHz FM ～  
2010年7月10日（土）21時30分～ 周波数 439.68MHz FM 迄、14回に亘るロールコールを終了致しました。
- (4) 画像通信に必要なインターフェース講習会を行なった。  
2010年5月9日、2010年6月13日の両例会にて「インターフェース製作講習会」を行ないました。
- (5) 公開運用を実施する際、風景写真による画像通信訓練の情報交換を行なった。
- (6) エコ時代に向かい、非常時におけるアマチュア局用電源のシステム化をテーマとした研究と実験を行い、非常時の移動運用モデルの複数形態を確立する。

8J3EQ 事業の具体的活動内容

F-1a 公開運用（延べ参加人数約360名）

- ① 第1回 2010年01月16日～17日 神戸市西区 雌岡山（約250名）  
近畿総合通信局 陸上三課 課長、岡山非常通信ネットワーク 代表  
JARL 三木クラブ 代表、裏六甲アマチュア無線クラブ 代表、他
- ② 第2回 2010年04月17日～18日 三木総合防災公園（約60名）三木クラブ、JJ3YRT、その他
- ③ 第3回 2010年07月03日～04日 淡路市 城ノ瀬山（約20名）
- ④ 2010年05月22日～23日 公開運用 JARL 三木クラブ 神戸市西区 雌岡山（約15名）
- ⑤ 2010年06月12日～13日 公開運用 裏六甲アマチュア無線クラブ 三田市 千丈寺湖（約15名）

F-1b 小集団移動運用（延べ参加人数約85名）

- ① 第1回 2010年02月07日 神戸市北区 鶴越墓苑（約17名）
- ② 第2回 2010年02月28日 西脇市 西脇公園（約6名）
- ③ 第3回 2010年03月07日 加古郡稲美町 天満大池（約12名）
- ④ 第4回 2010年04月04日 加古川市 平荘湖（約20名）
- ⑤ 第5回 2010年04月25日 多可郡多可町 市原峠（約6名）
- ⑥ 第6回 2010年06月06日 加古郡播磨町 人工島（約8名）
- ⑦ 第7回 2010年06月19日 赤穂郡上郡町 播磨自然高原クラブ（約8名）
- ⑧ 第8回 2010年06月27日 相生市 万葉の岬（約8名）

F-1c 個人運用（延べ参加人数約100名）

- ① 兵庫県市郡区町からの運用

F-2 ひょうご防災ネット ロールコールの実施（特別局の識別信号8J3EQを使用）

- ① ロールコールの目的（ロールコール進行の手引書）を再確認した。
- ② 原則的には毎月第2、第4土曜日 午後9時30分からJR3WP(439.68MHz)にて行なう。
- ③ MCは分担制で行い、多くの委員にMC経験をお願いした。

F-3 画像通信用インターフェース製作講習会

- ① 2回に亘る製作講習委員会に依る講習会を開催した。（JARL 三木クラブ、JARL 姫路クラブ 参加）

#### F-4 画像通信訓練の情報交換

第1回公開運用時に公開運用地(西区)とJE3EKN(須磨区)にて画像通信を行った。前述した添付資料 E-②、E-⑥を参照

#### F-5 非常時におけるアマチュア局用電源のシステム化

期間中の活動項目が多く、残念ながら講演会、講習会等の機会を設ける事が出来なかった。

##### ● 添付資料 F

- F-1-① 会報2月号 8J3EQ原稿      F-1-② 会報3月号 8J3EQ原稿      F-1-③ 会報6月号8J3EQ原稿
- F-1-④ 会報8月号 8J3EQ原稿      F-1-①a 第1回公開運用装備品      F-1-①b 第2回公開運用装備品
- F-1-①c 第3回公開運用装備品      F-1-①d 第3回公開運用地選定評価表
- F-abc-1 8J3EQ 月次運用の履歴      F-abc-2 8J3EQ 集計表 20100731 最終版
- F-abc-3 運用者別月次交信累計表(運用者名簿)
- F-abc-4 交信記録及びQSL発行記録 (QSLカード印刷表示と同様のハムログデータに修正)  
ハムログデータとして使用する場合、[F-abc-4 QSL Op HAMLOG.hdb](#)の青地を削除する事
- F-abc-5 ハムログデータのバンド別、エリア別交信件数表
- F-2-① ロールコール進行の手引書      F-2-② ロールコール出席簿
- F-3-① インターフェース講習会      a 会報6月号      b 会報7月号

#### ■ 項目 G ■ 特別局運用に関する基本ルールについて

G-1 特別局運用に際して、委員会の役務分担の明示、運用方法の周知徹底を図るマニュアル類、運用の手続き等を明確にした。

- ① 8J3EQ運用に関する諸マニュアルの公開と周知徹底
- ② 8J3EQ運用ログ及び記入方法の公開と周知徹底 (指定された運用ログ、指定された運用情報の記述をする。また、ハムログを使用し、指定されたハムログ設定とR1及びR2に必要情報・個人情報を入力する)
- ③ 特別局無線設備管理(無線機の貸出、返却、借用誓約書等の管理)の公開と周知徹底
- ④ ログ管理フローの公開と周知徹底
- ⑤ 運用に関する再確認事項の公開と周知徹底

##### ● 添付資料 G

- G-1-① 運用マニュアル (HP公開)      G-1-② ハムログ記入・入力マニュアル(HP公開)
- G-1-③ 個人運用情報の入力方法      G-1-④ 借用誓約書      G-1-⑤ ログ管理フロー
- G-1-⑥ 運用再確認事項      G-1-⑦ 運用予定表(重複申込等の調整・決定)

#### ■ 項目 H ■ 特別局QSLカード印刷・発行 (総QSL発行枚数=15,966枚 総SWL発行枚数18枚 )

QSLカードデザイン、業者選定、発注、ログに基づくQSL印刷(発行)、QSL発送等の一括業務

H-1 QSLカード発行及び発送 (発注枚数=20,000枚)

- ① ハムログに基づきQSLカード印刷、発行      ② ハムログ用印刷定義ファイルの作成

H-2 JARL QSL転送手続き (H22/2010年4月7日～H23/2011年4月6日迄)

- ① JARL転送申込、振込み等の手続き

##### ● 添付資料 H

- H-1-① 8J3EQ QSLカード記載について      H-1-② ハムログ用印刷定義ファイル(QSL/a-b・SWL/c Rig・Ant/d)
- H-2-① JARL 転送申込      H-2-② JARL 手数料振込      H-2-③ JARL 転送期間通知 (領収書)

#### ■ 項目 I ■ 特別局運用に関する必要備品類について

公開運用、小集団運用時に8J3EQ特別局運用を示す表示関連備品、委員会関係者を示すスタッフ名札等  
理事会からの謹呈「8J3EQ JARL 神戸クラブ」が印刷された緑色ジャンバー 20枚 感謝

I-1 必要備品類

- ① 8J3EQ 横断幕      ② 8J3EQ 標示版(A4)      ③ 8J3EQ 標示卓上盾      ④ スタッフ用名札
- ⑤ 卓上運用マニュアル      ⑥ その他

##### ● 添付資料 I

- I-1-① 8J3EQ 横断幕(幕老製作) I-1-② 8J3EQ 標示版(A4) I-1-③ 8J3EQ 標示卓上盾  
I-1-④ スタッフ用名札 I-1-⑤ 卓上運用マニュアル I-1-⑥ その他(備品写真 a. b. c. d. e. f)  
I-1-⑦ 8J3EQ ジャンバー(⑦a、⑦b)

■ 項目 J ■ 8J3EQ アワードについて(アワードマネージャー JA9CD/JA3BJH)

8J3EQ 特別局運用に伴い、阪神・淡路大震災が発生した1995年1月17日をメモリアルデーとして、この日以後の  
交信を有効とした各種のアワードを設定した。アワードの規約、申請書についてはJARL 神戸クラブホームページ  
「8J3EQ」からダウンロードする。

- ① 兵庫県全市町交信賞 ② こうべ花時計アワード ③ 8J3EQ 交信アワード

また、JARL 神戸クラブ員を対象として特別アワードを設定した。アワードの申請はJA9CD/JA3BJH まで連絡する。

- ④ 50周年記念特別局 8J3EQ 運用アワード ⑤ 50周年記念特別局運営委員アワード

\* アワード申請収益金は神戸クラブへ寄付した。

● 添付資料 J

- J-① アワードの発行について J-② アワード申請者リスト及び会計報告(0912 現在)

■ 項目 K ■ 事業会計報告について

最小必要限の経費執行と経費使用にあたり、実行委員長、会計担当委員の事前承諾を受けること。

- ① クラブ特別会計からの50周年事業助成金(300,000円) 2010年1月10日に受領(同日受領書発行)  
② 第3回実行委員会にて経費管理は金銭出納帳での管理、レシートは領収書と見做す事が認められた。  
③ ボランティア活動である由、保険に関する経費はない。安全、無理せず活動する事を認識しあう。  
④ 2010年09月12日、実行委員会 会計監査を経て、神戸クラブへ兵庫防災ネット決算報告書の提出  
並びに残金(余剰金)を返納した。

● 添付資料 K

- K-① 兵庫防災ネット決算報告書(監査済み) K-② 兵庫防災ネット決算報告書(現金出納帳、科目表、決算書)

■ 項目 L ■ 事業成果と反省について

2010年9月12日 クラブ例会午後、事業の締め括りとして、第10回実行委員会では事業の成果と反省を行った。各委員  
から多くの有意義なご意見を頂き、8J3EQ 開設事業としての活動を称え、幕を閉じた。

● 添付資料 L

- L-① 8J3EQ 第10回実行委員会(成果発表と反省)議事録

■ 項目 M ■ 結び

6ヶ月にわたる実行委員会の活動を終えて、その活動の足跡の資料をもとに改めて振り返ると、実行委員各位に  
おかれてはそれぞれ担当の立場での創意工夫が随所に発案されています。

そしてそれを持ち寄り委員会メンバーで協議を尽くし実行委員会は常に総意の基に運営がなされてきたことがあ  
きらかであります。

期間中数多くのイベントが計画されてきましたがすべての企画が実行に移され、総務省近畿通信局アマチュア無  
線担当課長をはじめ、外部から賞賛を頂くほどの成果を納めることができました。

今回の特別局ではその趣旨に鑑み、外部の一般アマチュア無線家を受け入れ親睦を深めながら地域の人々との交  
流を大切にして運用してきたことも特筆に値します。

また、特別局運用にのみにとられることなく、製作委員会と協力して SSTV インターフェースの製作など物作  
りにも活動の手を伸ばし知的財産を残すことができました。

膨大な資料になりましたがこれらは今後の神戸クラブ活動の糧となり有意義な歴史資料として役立つものである  
ことを確信して結びとします。

阪神・淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会  
実行委員長 JA9CD/JA3BJH

■ あとがき ■

8J3EQ特別局開設にあたり、各種の調整等の協力、各種の運用・管理資料等の製作協力を頂きました委員のご紹介

- |                                |              |
|--------------------------------|--------------|
| □ 特別局運用に関する理事会との調整他関連業務        | 担当委員         |
| ● QSL転送手続の窓口、SWL受入窓口関連協力等      | JA3BAM       |
| ● 委員会会場、神戸クラブ会報への情報掲載協力等       | JA3HAV       |
| □ 特別局運用に関する必要書類、関係資料の作成        | 担当委員         |
| ● 運用マニュアルを始め、総合的な関連資料等         | JA9CD/JA3BJH |
| ● 定款、特別局利用内規、構成員名簿、運用予定表、関連資料等 | JA3DLW       |
| ● 運用設備借用誓約書、関連資料等              | J13MAD       |
| ● 移動運用管理、関連資料等                 | JP3DVP       |
| ● 運用ログ整理、運用ログ集計、関連資料等          | JA3KIO       |
| ● QSLカード作成、印刷、発送、関連資料等         | JA3BQC       |
| ● 8J3EQ HP 表示更新、関連資料等          | JA3JTU       |
| ● 事業経費管理、関連資料等                 | JA3AQE       |
| ● 運用備品、記録、渉外関連資料等              | JH3OOI       |

- 8J3EQの思い立ち 実行副委員長 JA3BAM

以前から、「アマチュア無線神戸クラブ」を一般の人にPRする方法は無いものか、事有るごとに考えていたのですが、イベントを行いマスコミに取り上げて頂くのが一番と考えると、毎年来る、1月17日阪神淡路大震災にポイントを合わせるのが最高と考え、昨年10月のミーティングの席上提案した所、その意見が取り上げられ、JA3BJH/9CD氏が早速ミーティング後、メンバーを集め立案を始めていただき彼のバイタリティーにより、あれよ、あれよと言う間に各委員が任命されました。JA3BJH/9CD、JH3OOI局を中心に一糸乱れぬ運用に感謝、感激しました。

- 特別局運用を振り返って 実行副委員長 JA3HAV

神戸クラブ50周年記念行事の一環として特別局の提案を8月に柳原様より頂、理事会で検討の結果、記念局の開設を決定しました。皆様に提案をするのが11月となり、特別局の開設申請等が遅れ、各委員様にはご迷惑掛けてしまい申し訳ありませんでした。皆様のスピーディーな動きで1/17の震災日に特別局を神戸市西区 雌岡山にて開局セレモニー及び運用が出来ました。今迄、製作計画をしたのですが賛同が得られなかったが、災害時に画像を送る重要性を委員会から会員に熱心に説明して頂き、SSTV インターフェイス製作会が久しぶりに出来き、ハムらしい事が出来、良かったことだと思います。皆様のおかげで事故もなく無事終了できた事を感謝いたします。ありがとうございました。又、このようなことがありましたら是非、やりたいと思います。

- 重複運用申し込みの処置 免許運用管理委員 JA3DLW

運用マニュアルに従って正確に運用希望者から運用申し込みをして頂きました。お陰で運用計画も順調に計画され、運用して頂く事が出来ました。実行委員会として、「原則的にクラブ例会日のクラブ員による運用は行なわない」と言うルール徹底不足、説明不足から一部の運用者にご迷惑を掛けました。また運用者の自己責任に基づく特別局運用が行なわれ、運用上の問題もなく終了いたしました。みなさん、お疲れ様でした。

- 故障無く、働いてくれた無線機たち 無線設備管理担当の報告 J13MAD

無線設備管理上、運用に必要な関係書類を無線機と同梱する為のケース等の調達に始まり、また、貸与前後で無線機の



点検が必要である為、JA3BJH委員長に簡単な点検方法の説明をして頂きました。取扱説明書を見ても、私には非常に取り扱いの難しいリグです。無線機点検用としての測定器を、JA3DLW委員にお借りした高周波電力計が大変役立ってくれました。私が管理している無線設備の貸出回数は、合計 42 回。諸事情で運用が中止されたり、また、キャンセル等を含め合計2回の貸出中止がありました。そして、沢山の運用をされたにも拘らず運用の各局が無線設備を大切に扱われ、故障等のトラブルが発生しなかった事に深く感謝いたします。

● 「8J3EQ」の運用をふり返って

移動運用管理委員 JP3DVP

6ヶ月間の長丁場の運用に思った特別局も事務局の頑張りで短い半年であったように思われます。事務局からの丸め込み、口車に心を許して何よりも優先にし、私達なりに同じ移動地では運用しないとして市町を転々とし、設営及び運用してきましたが行き届かなかったことがありましたことをお詫びいたします。また、公開運用の設営や機材の提供等に移動組の力を快くお貸しいただいたこと感謝いたします。移動組の方々のQSO数は少なかつたと思いますが、移動組のモットーは「ゆずり合い」、日頃の態勢は崩れていないと確信しました。お礼、公開運用で参加して頂いた皆様方が撤収を手伝って頂いたり、差し入れて頂いたご協力を感謝いたします。

● 8J3EQログ管理を担当して

ログ管理委員 JA3KIO

1月17日の初回公開運用終了後、LUWさんと手分けし、約600局強の紙ログをハムログに入力、加えて従免証番号、GL番号等の必要事項も入力する事になっている。この作業に約1週間以上も費やし、へとへとになってしまった。個人運用であれば不要事項であっても、特別局として公開運用等を行う上で一般のアマチュア無線局の運用を受け入れる必要がある為、これら項目が必要である事も理解できてきた。ログ管理担当を経験して、今迄、個人でハムログ入力していただければとても知りえなかった管理手法、ファイル構造、一括修正法など多くの技術、技能を修得することが出来た。いつも思う事ですが、初めは大変ですが、未知の経験をして終わってみると本当に沢山の事が身についた事に気づきます。

● QSLこぼれ話

QSL発行担当委員 JA3BQC

カードの表面図と裏面データは事務局の提案通りとなったが、「8J3EQ」の文字体を鮮やかにすべく一太郎 2010 のPOP文字で作成、Wordに貼り付けたのを委員会に提案したところ「ギザギザを滑らかにすること」を条件に採用された。印刷業者は一太郎 2010 のバージョンでは請けられないと言われ、一太郎とWordを何日いじくりまわったことや、ある日ある時、突然Wordの画面に鮮やかにして綺麗な「8J3EQ」が浮かび上がった。「オーやった」の音が思わず出た。早速業者にメール送信したら請けてくれた。二度と同じことは出来ません。苦労と達成感を味わったQSL発行担当作業の一コマでした。

● 広報記録担当を終えて

広報記録担当委員 JA3JTU

開局セレモニーの音声記録・写真撮影、各地移動運用の写真撮影・HP活動内容の移動地予告・ロールコール実行の更新及び運用申込による運用予定表への予定・確定の追記更新を受持ちました。音声記録は、音声のみでは後に分かり難いので、SDカードへH.264(MP4)で記録する格安のデジタルムービーカメラを購入して記録しました。運用申し込みによる運用予定表への予定・確定の追記更新は、会社のPCで随時申込を確認し、都度HPの運用予定を更新しました。この運用予定のホームページへの更新掲載は運用担当JA3DLW氏からの確定メールと併せて、電話打合せによる早めの確定更新にも努めました。

● 防災ネットに参加して

会計担当委員 JA3AQE

今回の委員会の経験からクラブを楽しみながら運営するヒントを頂きました。マンネリ化を避け、クラブをみんなの求める新しい方向を探ること、これには最近クラブに入った方はもちろん、発言の機会の作りづらいう方の意見も反映される、システムづくりが必要で、これにはみんなができるだけ早期の計画段階から賛否を含めた意見が交換できる、方法(今回はチェーンメール、スカイプなどの利用)が必要と認識させてくれた。みんなが納得できるやり方の一方法ではないかと思えます。このたびはこれにかぎらずクラブにも私個人にも活性化の方向を与えてもらった委員長をはじめ委員のみなさんに感謝します。

2009年11月8日、50周年記念事業としての特別局開設委員会が承認された。クラブ例会後、起案者であるJA3BJHさんの召集で当日出席していた有志が2階喫茶店に集まり、今後の計画について話し合った。開設までの時間的な余裕が無く、集まった有志の意気込みは凄いものを感じた。理事会を代表してJA3HAV会長にも参画を頂き、実行委員会設立の作業が事業のスタートとなりました。JA3BJHさんから事業のまとめ役として事務局を依頼され内心、経験もなく躊躇しましたが雰囲気の中に呑み込まれ、お引き受けする事になりました。事業を通し、数多くの教を頂く事ができました。また数多くの事柄を真剣に討議し、ご協力を頂きました委員の皆様方にお礼申し上げます。個人的には素晴らしい経験と創立50周年記念の思い出が出来た事に感謝します。ありがとうございました。

第1回 公開運用 神戸市西区 雌岡山 2010.01.17



第2回 公開運用 三木市 三木総合防災公園 2010.04.18



第3回 公開運用 淡路市 城ノ瀬山 2010.07.04

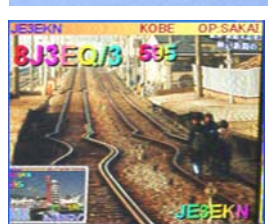


SSTV インターフェース・ボックス 製作講習会 開催

第1回 2010.05.09  
第2回 2010.06.13



USB  
シリアル変換モジュール  
(FT-232RL) 使用



編集実務 JH3OOI

監修 JA3BAM JA3HAV JA3DLW JI3MAD JP3DVP JA3KIO JA3BQC JA3JTU  
JA3AQE (調整協力・各種資料製作協力委員の記載順)

発行 JA9CD/JA3BJH 阪神・淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会 (略称 ひょうご防災ネット)

発行日 2010年9月12日